

令和7年度芸術選奨贈呈式

清水ミチコさん、大塚凱さんらの功績称える

「令和7年度芸術選奨贈呈式」が3月17日、東京都内のホテルにおいて執り行われた。同賞は、演劇、映画、音楽、舞踊、文学、美術、メディア芸術、放送、大衆芸能、芸術振興、評論の芸術各分野において、国内外で優れた業績をあげた者、又は新生面を開いた者を選奨し、芸術選奨文部科学大臣賞及び同人賞をおくることで、芸術活動の奨励と振興を図っている。今年度の文部科学大臣賞に



各芸術分野で優れた業績をあげた芸術選奨受賞者と小林副大臣、福田政務官、都倉長官ら



清水ミチコさん

小林文科副大臣



乾杯の発声をする都倉長官

大塚凱さん

受賞者を代表してあいさつした清水ミチコさんは「小さいころから耳がいいことは褒められたが、口が悪いということ、大きな賞とは無縁な人間なのだろうと思ってきた。こんなに大きな賞を頂き、本當にうれい」とユーモアを交えながら受賞の喜びを語った。また、俳人の大塚凱さんは、昨今の世界情勢と年末年始に乗船した南極船での光景と絡めて、「我々のこの世界は吹けば飛んでしまうような南極船のようにとてももろくて、危うい空間のように思えて仕方ない。せめて今日この場でたまたま同じ船に乗り合わせただご縁で、お互いの表現を祝福し合うことができた。これに勝る幸せはない」と語った。贈呈式後の祝賀会では、受賞者をはじめ関係者らが歓談の時を楽しんだ。乾杯のあいさつを務めた都倉長官は「受賞された皆さんもぜひ芸術選奨の歴史を重く考えていただき、明日からの糧にしていただければ」と述べ、受賞者を称えた。

は、劇作家の齋藤雅文さん、映画監督の李相日さん、タレントの清水ミチコさんら23名、新人賞には映画監督の石川慶さん、俳優の広瀬すずさん、漫画家の龍幸伸さん、声優の花江夏樹さん、脚本家でお笑い芸人のバカリズムさんら22名、1組が選ばれた。贈呈式には、文部科学省から小林茂樹副大臣、福田かおる大臣政務官が、文化庁から都倉俊一長官らが出席。小林副大臣は受賞者一人ひとりに賞状を授与し、「今回受賞された皆さまはそれぞれの分野で実力を遺憾なく発揮し、大きな成果を上げてこられた。その功績に対して深く敬意を表するとともに、皆さまがなお一層ご活躍されることを期待している」と激励した。